

新しい地震対策を考える専門家向けセミナー

〈セッション7 微動診断と動的解析〉

今世紀に入り、地球環境が再び活動期に入り、豪雨、台風、地震に加え、感染症が猛威を振るっています。20世紀後半の静穏期に急成長した現代都市と経済社会システムは、その脆弱さを露呈し根本的な変革を迫られています。昨年の専門家向けセミナーでは、5回に分けて、SRFとMTDという新しい診断と補強の方法をご紹介し、適用事例、東日本大震災、熊本地震等での実証についてご紹介しました。本年の第2ラウンドでは、数回に渡り、SRFとMTDを用いた新しい構造と評価法の原理と内容、これらを新築に用いる方法と効果、および実施例について詳しくご説明します。

セッション6では、地球環境から構造物、什器・設備から部品の挙動に至るまで、様々な現象の基本になっている連続体力学と波動方程式から、地球環境は繰り返すこと、大地震、気候変動などは計算限界を超えた現象であり、同じ状況(位相)の時間あるいは場所に類例を求めることが重要であること、制御したり立ち向うのではなく、これを受け入れて構造的な対策をとることが急務であること、回転が大切な要素であり1次元的な見方では捉えられないことをご説明しました。これを受けて、セッション7では震動エネルギーを導入し、構造物の損傷と破壊を避ける方法を検討します。さらに、微動診断の理論と改修、新築に対する実施例、動的解析との比較をご紹介します。本セミナーが、年々厳しくなる地球環境に対する生活と事業継続に向けての方策、構造的な対策、新しい街と国の姿をお考えいただく機会となることを願っております。

日時

2021年5月13日(木)
セミナー：13:30～14:30
個別相談：14:40～

テーマ

〈セッション7〉
微動診断と動的解析

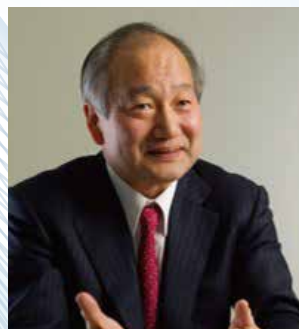
過去開催分は当社ホームページよりご視聴いただけます。
ご視聴はこちら https://www.sqa.co.jp/opinion/seminar_application.html

開催方法

オンライン (ZOOM)

申込方法

当社ホームページの専用フォームよりお申込みください。
お申込みはこちら https://www.sqa.co.jp/opinion/online_seminar_form.html



講師
構造品質保証研究所株式会社
代表取締役社長

五十嵐 俊一

工学博士
日本建築学会会員
地盤工学会正会員
コンクリート工学協会正会員

